

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ

第14回文法研究ワークショップ

動詞連続の諸問題

開催のお知らせ・募集要項

「文法研究ワークショップ」は、記述言語学を志す学生や研究者が最新の研究成果や調査データを紹介しあうことにより、学生・研究者の交流や、情報共有を行なうことを目的としたワークショップです。

今回のワークショップでは動詞連続を取り扱います。東南アジア諸言語研究会編（2017）、Aikhenvald（2018）などに見られるように、動詞連続は近年の研究でも注目を集めています。複数の動詞が関与する動詞連続という現象は、言語学の様々な問題と関連性を持ちます。

- ・名詞の問題（動詞連続の項はどのように共有されるか）
- ・動詞の問題（どのような動詞の組み合わせが可能か）
- ・語順の問題（構成動詞はどのような語順で配列されるか）
- ・意味の問題（動詞連続はどのような事象を表すか）
- ・単語性（単語性）の問題（動詞連続は一語か複数語か）
- ・単節性（単節性）の問題（動詞連続と複文はどのように異なるか）
- ・分類の問題（動詞連続はどのようなサブタイプに分類されるか）
- ・通時的（通時的）問題（動詞連続の起源、言語接触、文法化など）

本ワークショップでは、系統と地域の異なる多様な言語の動詞連続を巡る諸問題を様々な側面から議論します。

記

1. 開催日時：2019年1月12日（土）13:00～17:00
2. 開催場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）
マルチメディア会議室（3階304室）
3. 発表表：
13:00-13:10 倉部慶太（AA研所員）
「趣旨説明」
13:10-14:00 山本恭裕（京都大学大学院・日本学術振興会）
「イロカノ語の動詞連続及びそのサブタイプ」
14:10-15:00 伊藤雄馬（富山国際大学）
「ムラブリ語の動詞連続」
15:10-16:00 仲尾周一郎（大阪大学・AA研共同研究員）
「アラビア語諸変種と動詞連続」
16:10-17:00 倉部慶太（AA研所員）
「ジンポー語の動詞連続：複文との対照」

4. 参加資格：上記のテーマに関心のある研究者・学生（大学院生以上を原則とします）

5. 定 員：20 名程度

6. 参加申込方法：下記 URL にアクセスして、専用フォームからお申し込み
ください。折り返し自動返信メールが届きますので、ご確
認ください。なお、右記 QR コードからでも同じページに
アクセスできます。



<https://lingdy.aa-ken.jp/activities/training-ws/190112-flws-gram>

7. 申込締切：2019 年 1 月 10 日（木）正午（ただし定員に達し次第締め切りますので、お早め
にお申し込みください）

8. 問い合わせ先：「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」
事務局 [info-lingdy\[at\]aacore.net](mailto:info-lingdy@aacore.net)（[at]を@に変えて送信ください）

9. そ の 他：ワークショップは日本語でおこないます。
参加は無料です。

※ご不明な点がございましたら、上記「8. 問い合わせ先」までご連絡ください。

※過去の文法研究ワークショップにつきましては、

<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/grammar-wr-ws> をご覧ください。

主催：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「多言語・多文化共生に向け
た循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」

以上